

efi Fiery® Graphic Arts Pro Package

印刷物制作のコストを削減



利益を無駄にしてはいませんか？

以下の状況に心当たりはありませんか？

- 修正のためにジョブをプリプレス段階に戻すことでプロダクションが停滞している
- カラーまたは品質上の問題のためにジョブが却下される
- カラーの正確さを判断するために無駄なクリック操作を行っている
- 印刷品質に関するトラブルシューティングでプレス時間が無駄に使われている
- プリフライトソフトウェアで潜在的な問題のすべてを把握できていない
- クライアントによるソフト校正の準備に時間がかかっている



ターンアラウンド時間はいつでも厳しく、時間的な余裕はあまりありません。また、作業のやり直しによってジョブの利益が圧迫されます。無駄な印刷をなくしてショップの収益性を最大化するには、どんなツールが必要なのでしょう？

無駄なクリック操作の削減

Fiery® Graphic Arts Pro Package を使えば、無駄な印刷をなくし、プリントエンジンの稼働が収益に直結する状態を維持できます。1ページも印刷することなく、Fiery サーバーで印刷ジョブの内容を正確に確認できるので、事前に問題を修正することができ、利益にならない無駄な印刷を増やさずに済みます。

無駄がワークフローに与える影響

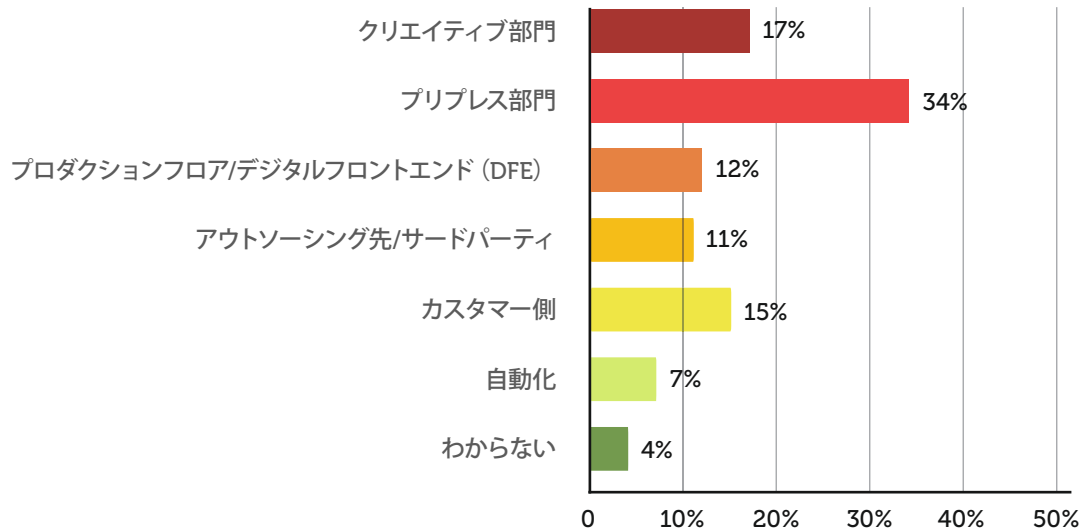
ここでいう無駄は物理的な印刷だけにとどまりません。非効率的なプロセスは従業員の時間の浪費につながり、時間の浪費は、利益を生むプロダクション作業に使える従業員の時間が少なくなることを意味します。無駄が生まれるごく一般的な理由のいくつかは、Fiery Graphic Arts Pro Package によって特定して解消することができます。これにより、コスト削減と収益向上への道が開けます¹。

ジョブの却下は無駄を生む主要な要因の1つです。印刷サービスプロバイダーの約25%²がプリフライトチェックの不足に起因する印刷物の廃棄を経験しています。Fiery Graphic Arts Pro Package は、主要なプリフライトチェックの自動化を実現することで、無駄を削減するとともに、防げたはずのエラーによるジョブの却下を回避します。

無駄な印刷物をなくすもう1つの方法は、クライアントに正確なソフト校正刷りを提供することです。すべての印刷量の約50%³は、コンテンツやカラーの承認のためにカスタマー側のソフト校正を必要とするジョブが占めており、大半の印刷サービスプロバイダーでは初回ソフト校正刷りの作成に5分かかっています⁴。Fiery Graphic Arts Pro Package を使用すれば、1回のマウスクリックで正確なカラーのソフト校正刷りをポストRIPラスタファイルから容易に生成できるので、時間を節約しつつ、より迅速にカスタマーや後のプロダクション工程にジョブを届けることができます。

デジタル形式のカスタムジョブの場合、通常はカラー補正をどこで実施しますか？¹

御社で実行しているジョブの過半数が、プリプレス部門またはクリエイティブ部門によるカラー補正を必要とするものになっていませんか？これは時間がかかるだけでなく、変更を試したり校正刷りを作成したりする場合には、プレス時間やクリックチャージによるコストもかかります。Fiery DFE でポスト RIP ラスターを使用してカラー補正を行えば、処理の高速化と高精度化を確実に実現できます。



「ファイルのソフト校正によってジョブが厳密にどのように印刷されるのかをプレビューすることは、印刷エラーの抑制と無駄の削減に大いに役立ちます」

CINDY LEY、ALLIED RELIABILITY GROUP、
プロダクションスペシャリスト

¹ ワークフローの ROI に関する調査 (InfoTrends) より

印刷物制作コストの削減

Fiery Graphic Arts Pro Package は、印刷物制作の現場でジョブの却下や無駄なクリック操作につながる問題を特定して修正するための、非常に強力な包括的ツールセットを提供します。こうしたツール群と Fiery デジタルフロントエンド (DFE) との完全な統合は、問題のトラブルシューティングを迅速かつ容易にし、従業員やエンジンが作業を行わずに待機している時間を最小限に抑えることにつながります。

Fiery Preflight

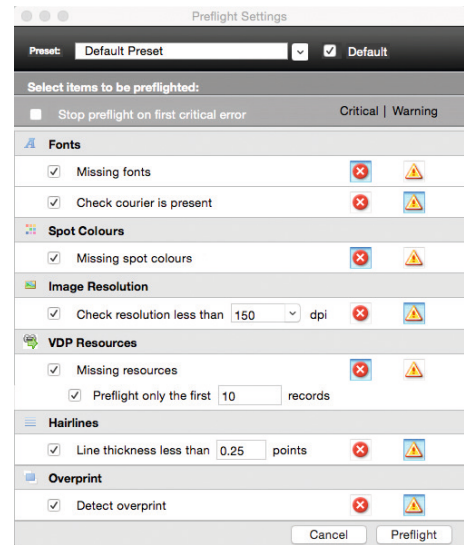


Fiery DFEに接続する唯一のプリフライトツールである Fiery Preflightは、主要なジョブリソースに関して非常に詳細な情報を提供できます。こうした情報は、その他のプリフライトソフトウェアでは十分に確認できないものです。

- スポットカラー、VDPリソース、フォントなど、不足している要素の有無をチェック
- 解像度の低い画像やオーバープリントといった潜在的なエラーを特定
- エラーチェック用のカスタム要件に適合するようにFiery Preflightを設定し、使用頻度の高い設定についてはプリセットを設定
- Fiery Hot Foldersによる自動化



Fiery JobFlow™ との統合により、手動操作を必要としない完全に自動化されたジョブ検査ワークフローを実現できます。



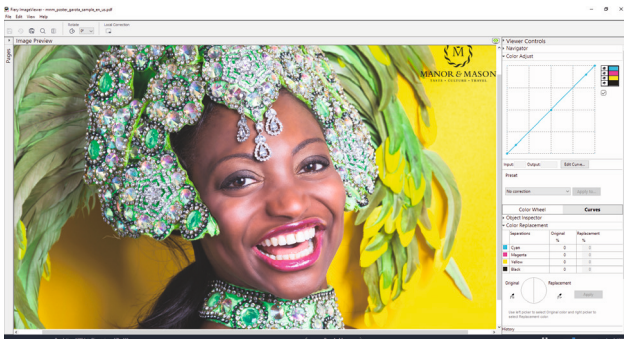
Fiery Preflight の設定画面

Fiery ImageViewer



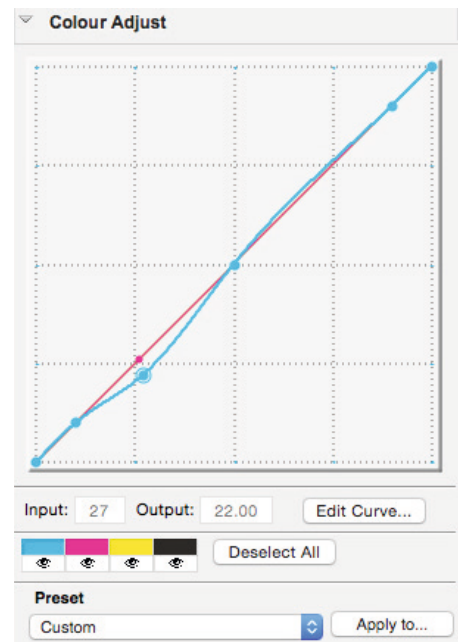
Fiery ImageViewer には、印刷される内容がそのまま表示されます。ポスト RIP ラスターファイルをフル解像度で表示して、実際の出力カラー値を測定できます。印刷される内容を正確に表示することで、無駄な印刷をなくすことができます。

- Fiery DFE または任意の Fiery Command WorkStation® クライアントでカラー補正をただちに実施できます (ファイルの再 RIP 処理や編集のためのプリプレス工程への再送信は一切不要)。さらに、ImageViewer を使って文書全体や特定の領域のカラーを置換することも可能です。
- 直観的なトーンカーブ (曲線) を使用したカラー調整が可能です。カスタム曲線を保存して、他のジョブや、カラー編集を迅速かつ高精度なものにする自動化ワークフローで使用できます。



Fiery ImageViewer は、カラー編集のための視覚的インターフェイスを備えています*。

*一部の機能では、ImageViewer 4 に対応したシステムが必要です。



曲線をドラッグするだけでカラーを調整できます。プリセットとして保存すれば繰り返し使用できます。

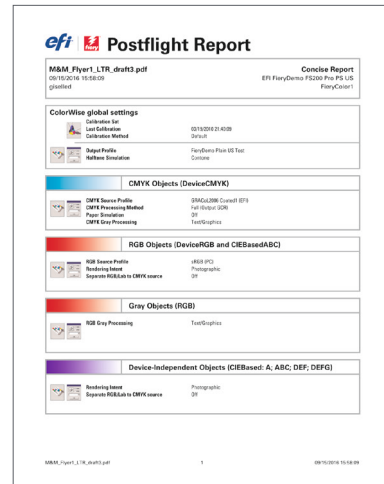


Fiery Postflight



ポスト RIP ラスターファイルで問題のあるページ要素を視覚的に特定して診断できます。Postflight は、Fiery Preflight を補完するためにさらに詳細なレベルの分析機能を提供します。

- 色分けされたレポートによってカラー管理上の潜在的なエラーを提示
- Fiery DFE 上でのスポットカラー要素の使用可否を容易に確認可能
- Postflight にはカラーおよびイメージの品質の確認のための印刷サンプルが付属



色分けされたレポートは、カラー管理上の潜在的なエラーの確認を容易にします。

Fiery Control Bar

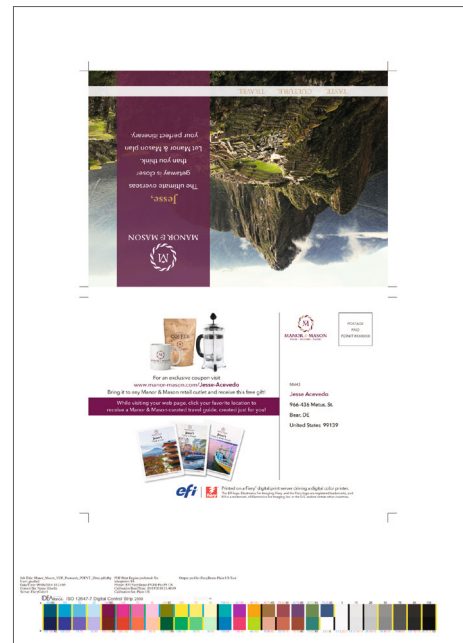


Fiery Control Bar は、Fiery DFE と統合されたプロセス管理ツールです。印刷品質の長期的な監視により、非常に一貫性の高い印刷プロダクションを実現し、カラーマッチングの失敗を回避できます。

- 工場出荷時の標準である Idealliance または Fogra のカラーバーの選択や、独自のカラーバーのアップロードが可能
- 柔軟性の高いページ配置によって幅広いシートサイズに適合
- ジョブ情報のカスタマイズによってプレス名、ハーフトーンスクリーン、解像度、プロファイルなどのプロダクション変数に対応
- Fiery Control Bar Builder でカスタムコントロールバーを容易に設計可能



Fiery Verify (Fiery Color Profiler Suite の一部) との統合により、業界標準に基づいたカラー測定を実現します。



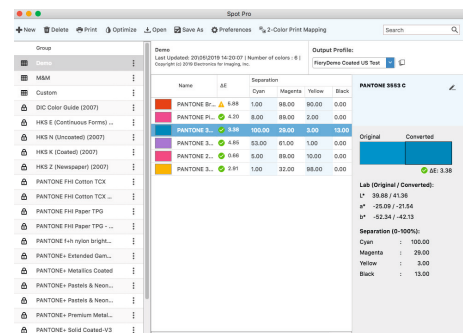
印刷ページ上のコントロールバーは、確実なカラープロセス制御に役立ちます。

Fiery Spot Pro



Fiery Spot Pro は、便利なスポットカラー管理ツールにより正確かつ一貫したブランドカラーを実現する製品です。

- 独自のカラーやスウォッチブックをすばやく簡単に作成
- デザイナーとシームレスに連携し、ブランドカラーの一貫性を確保: ASE または CxF 形式でライブラリをエクスポート/インポート。また、エイリアス機能によりスポットカラーを別のカラーにマッピングすることも可能
- 強力なツールでスポットカラーをカスタマイズ/最適化
- 色域に関する警告を設定して業界規格の遵守をサポート



Fiery Spot Pro では、ブランドカラーをあらゆる面で管理できる強力なツールを利用できます。

収益性の高い印刷ワークフローの構築

Fiery Graphic Arts Pro Package のコンポーネント群を使用してシンプルな制作ワークフローを構築することで、あらゆる印刷物が収益を生み出す商品に変わります。また、スタンダードのトラブルシューティングのために個々のコンポーネントを使用できます。

Fiery FS400 Pro 以降の外付型サーバーで Fiery Graphic Arts Pro Package を無料で試用する方法については、www.efi.com/gapro をご覧ください。

まずは **Fiery Preflight** によってできるだけ早い時点で潜在的な問題を特定します。

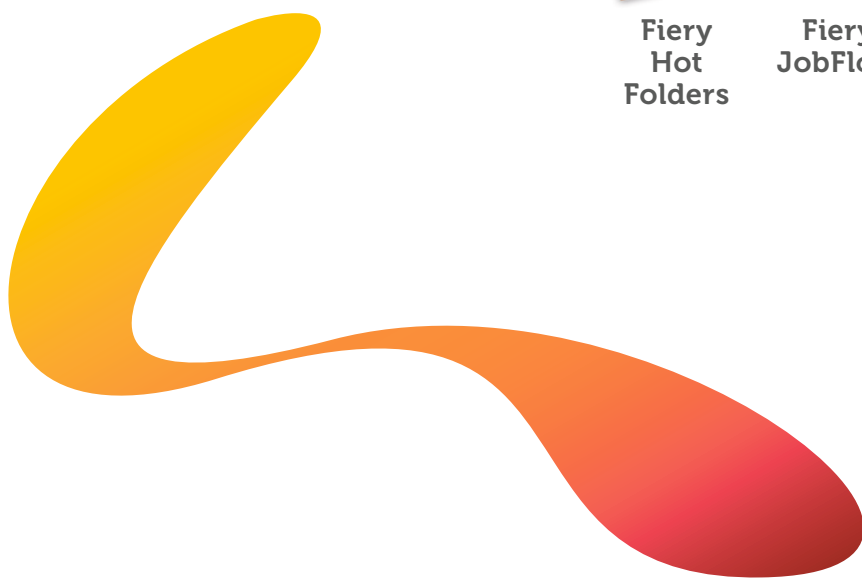
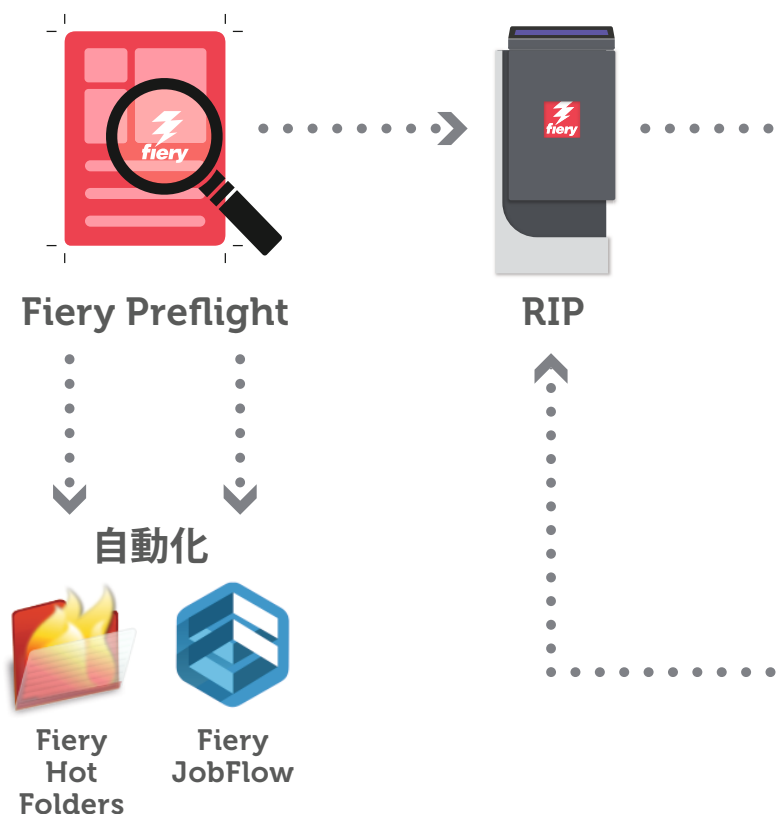
例:

Fiery Preflight レポートは、ファイルに不足しているスポットカラーがあることを教えてくれます。そのままでは不正確なブランドカラーが印刷されるおそれがあります。

解決策:

Fiery Spot Pro で不足しているスポットカラーを追加します。

Fiery Preflight は Fiery JobFlow および Fiery Hot Folders とのシームレスな連携によってプリフライト処理を自動化します。



ポスト RIP ラスターファイルを **Fiery ImageViewer** で表示して、印刷される内容を厳密に確認します。ファイルが Fiery ImageViewer に適切に表示されている場合は、自信を持ってジョブをプリントエンジンに送信できます。

例：

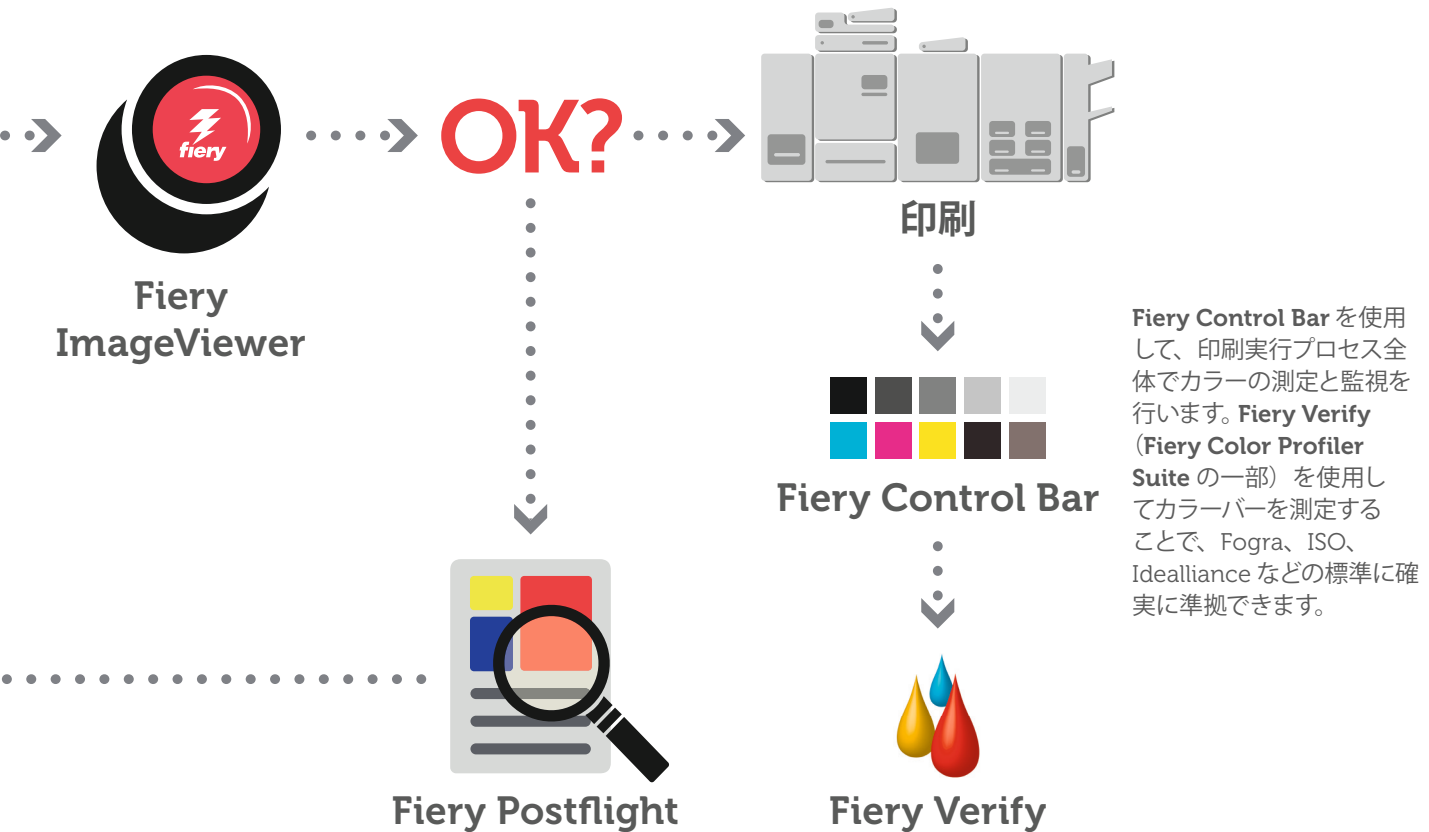
パンフレットの写真がマゼンタがかかった色になっています。プリプレス工程に戻して補正を行うと、プロダクションに遅延が生じます。

解決策：

Fiery ImageViewer でマゼンタ曲線を調整してから、パンフレットを印刷します（ファイルの再 RIP 処理は不要です）。

ソフト校正：

ソフト校正刷りは、カラーおよびコンテンツの校正と承認のために、ほんの 1 回のクリックでプリントバイヤーに送信されます。



Fiery Control Bar を使用して、印刷実行プロセス全体でカラーの測定と監視を行います。Fiery Verify (Fiery Color Profiler Suite の一部) を使用してカラーバーを測定することで、Fogra、ISO、Idealliance などの標準に確実に準拠できます。

ImageViewer におけるジョブのカラー品質がまだ許容レベルに達していない場合は、**Fiery Postflight** を実行してさらに詳細なレベルの分析を行います。

例：

チラシのある写真が暗く、ポスタライズされたように見えます。このままではプリントバイヤーに受け入れてもらえません。

解決策：

Postflight レポートを使用して、この画像に関連付けられているプロファイルを特定します。この画像のカラー管理を適切に行うために、Job Properties でカラー設定を変更します。

購入方法

Fiery Graphic Arts Pro Package は、Fiery 販売店からお求めいただけます。

必要条件:

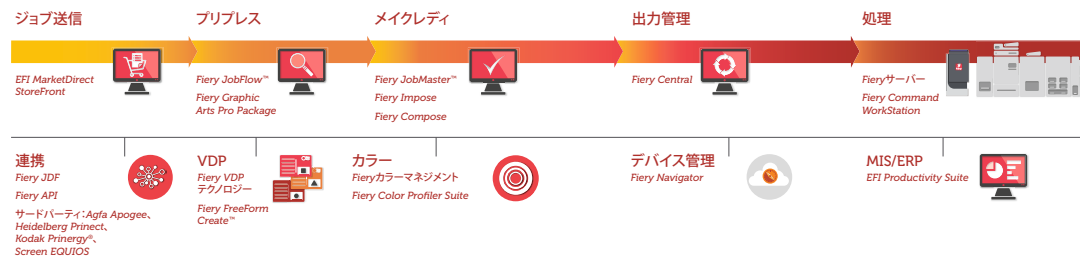
- FS400 Pro ソフトウェアを搭載している外付型 Fiery サーバー
- Fiery Command WorkStation (バージョン 6.4 以降)

無料トライアルのご要望について

Fiery Graphic Arts Pro Package を無料で試用する方法については、www.efi.com/gapro をご覧ください。

Fiery Workflow Suite

Fiery Graphic Arts Pro Package は、Fiery Workflow Suite の一部として提供されています。Fiery Workflow Suite は、生産性を新たな次元に導くためにジョブ送信から出力までの印刷プロセスを効率化および自動化する高度なツール群を包括的に備えています。詳細については、www.efi.com/fieryworkflowsuite をご覧ください。



EFIはお客様のビジネスの発展をお手伝いします

EFIは看板・パッケージ・繊維製品・セラミックタイル・パーソナライズされた書類の制作のための革新的テクノロジーを開発しています。EFIの提供する様々なプリンター・インク・デジタルフロントエンド・総合的ビジネスソリューション及び生産ワークフローにより、生産プロセスを改良・簡素化することで、印刷業界で圧倒的な競争力と高い生産性を手に入れることができます。詳細は：<http://www.efi.co.jp> まで。



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

AutoCal, Auto-Count, Best Eye, ColorGuard, ColorPASS, ColorRight, ColorWise, Command WorkStation, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DocBuilder, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, EPCount, EPPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, FabriVU, Fast-4, FASTRIP, FASTDRIVE, Fiery, the Fiery logo, Fiery Compose, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery DesignPro, Fiery Edge, Fiery Impose, Fiery ImageViewer, Fiery Intensify, Fiery JobExpert, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, FreeForm, GameSys, Hagen, InkIntensity, Inkware, IQ, iQuote, LapNet, Lector, Logic, MarketDirect StoreFront, MarketDirect VDP, MarketDirect Cross Media, Metrics, Metrix, MicroPress, Monarch, Monarch Planner, OneFlow, Optima, Optitex, Organizing Print, Pace, Pecas, Pecas Vision, PC-Topp, PressVu, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintSmith Vision, PrintStream, Profile, Process Shipper, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, RIPChips, RIP-While-Print, Spot-On, Spot Pro, Synchro 7, Technique, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEK, the VUTEK logo, and WebTools are trademarks or registered trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.

All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.